



## 地域活動への参加や患者さんに役立つ情報発信など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

当社は各地の事業拠点において、地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでいます。また、認知症の啓発や医療と介護に役立つ情報をインターネットで発信しています。

### コミュニティへの参画

#### 企業市民活動

##### 地域社会との関係

地域社会においてコミュニケーションを深めるために、清掃キャンペーンや消防活動に積極的に参加しました。

##### ●生産物流部門の取り組み

フジヤマ工場では、地域環境(外部コミュニケーション)に配慮した活動として、屋外環境整備を2012年度の環境目的に掲げ、2012年の9月と2013年の3月に工場境界ポイント外部隣接ゾーンの清掃を行いました。2013年度においても、工場全体で積極的な活動を展開し、清掃を行う予定です。また、城東工場では2012年10月に大阪市主催の大阪マラソン“グリーンUP”作戦の行事の一環として、工場の外周、近隣小学校の外周や公園等清掃を行いました。今後も、こうした地域に密着した有益な活動に積極的に参加を予定しています。



##### ●研究本部の取り組み

水無瀬研究所では、全国名水100選に選ばれている名水を守るため「離宮の水」保存会に加入し、年2回の一斉清掃に参加しました。また、地域住民の防火意識の高揚を目的に11月に行われている島本町防火まつりへの参加や1月の第2日曜日に実施される島本町消防出初式に自衛消防隊として参加し、消火訓練を行いました。

福井研究所では、定期的に研究所の外周付近に捨てられているゴミ回収等の清掃を行い、防火意識の高揚および消化技術向上の一環として毎年実施される自衛消防操法大会に当社自衛消防隊も参加し、消火訓練を実施しました。また、テクノポート福井企業協議会主催の「テクノポート福井夏祭り」に実行委員会の一員として参加し、地域住民の方々と交流を深めています。そのほかに、研究所内の体育館並びにテニスコートを地域住民の方々に開放し交流の場所として利用していただいています。

筑波研究所では、研究所敷地境界付近に捨てられているポイ捨てゴミを回収し処分するため、定期的に巡回しゴミを集め廃棄しています。



##### ●その他部門の取り組み

大阪マラソン“グリーンUP”作戦に参加し、本社周辺などの清掃をしました。

本社では、障がい者の自立を支援する作業所で手作りされたパンとクッキーの販売会を毎月第4水曜日に行っています。



## 患者さんご家族の支援

当社は、患者さんとその家族にお役立ていただける情報をインターネットを介して発信しています。

小野薬品コーポレートサイトには「患者さんご家族の皆さまへ」というコンテンツを設け、当社の主要製品を正しくご利用いただくための情報を提供しています。さらに、病気について分かりやすくお伝えすることを目的とした「病気と治療の講義室（病気のお話し）」では、糖尿病や骨粗鬆症、花粉症や気管支喘息など身近にある11の病気について、図やイラストを交えて解説しています。病気の情報だけでなく、症状の具体的な事例、治療および普段心がけるべきことなども合わせて掲載し、患者さんご家族の皆さまにご利用いただける内容になっています。

また、2011年7月、日本で初めて貼付タイプのアルツハイマー型認知症治療剤を発売したのを機に、認知症領域で何ができるのかを考えました。そこで、医療機関などの協力を得て研修を実施させていただき、約1千人のMR（医薬情報担当者）全員が参加して、認知症の実態や現場のニーズなど多くのことを学びました。認知症サポーター養成講座も受講し、認知症の人が安心して暮らすために我々が日々に行っていることは何かを製薬企業と患者さん、両面から考えています。

同7月に、当社のWEBサイト「笑顔とこころでつながる認知症医療」を立ち上げ、各地域の第一線で活躍されている先生方やスタッフの皆さまの声、診療の工夫や地域連携など、あるいは、治療を通じての喜びの笑顔や

生の声を全国に伝えるべく現在も運営しています。また、ショートムービー「バアちゃんの世界」も制作してサイト上に公開し、認知症啓発を行ってきました。

これらの取り組みが認められ、2012年の「第6回企業ウェブ・グランプリ」（後援：総務省）において、「コンテンツ企画&ライティング（B2B）部門」と「社会貢献・CSR部門」で優秀サイトとして表彰されました。

全国の医療施設などでは、絵画や陶芸・ペーパークラフトなどの創作活動を通じて、認知症の進行の予防・改善を図る取り組みが注目されています。その活動を広く世に知らせ、制作者の方やそのご家族の喜び、医療に従事する人たちの充実感を応援したいと、当社は、2013年4月よりWEBサイトで作品を募集し、それを広く紹介する「ふれあいつながる作品展」を始めました。



※詳しくは「ふれあいつながる作品展」で検索



※詳しくは「笑顔とこころ」「バアちゃんの世界」で検索



※詳しくは「患者さんご家族の皆さまへ」で検索

## 寄附講座開設

当社は、社会貢献活動の一環として、寄附講座を開設しています。今日の医療は技術の進歩に伴って充実してきているものの、未だ満たされていない疾患が多く残されています。また、発展途上国における基本的な保健衛生ならびに気候変動の影響によるさまざまな疾病への対策が課題としてあがってきています。さらに、企業や

地域社会、ひいては国や国際関係においても広義の「健康」のあり方も課題として浮上ってきています。

当社は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」を企業理念に定めており、これからもこの理念に基づき、社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

| 大学      | 講座名                    | 設置期間                                                        | 設置目的                                                                                                                                                                         |
|---------|------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 九州大学    | 外科集学的治療学講座             | 2011.4.1～2014.3.31<br>(3年間)                                 | 外科治療、放射線治療、薬物療法とそれに伴う支持療法も含めた集学的ながん治療・移植医療およびそれに随伴する免疫異常、感染症に関する教育・基礎研究・臨床研究を行い、外科治療成績の向上を図ることを目的とする。また、これらの研究成果や、必要な疫学調査によって得た情報をもとに、最適な外科治療およびがん支持療法の普及、産学連携した医薬品開発にも取り組む。 |
| 慶應義塾大学  | 先進脊椎脊髄病治療学<br>寄附講座Ⅲ    | 2009.10.1～2012.9.30<br>(3年間)<br>2012.10.1～2015.9.30<br>(継続) | 各種脊椎疾患に関する教育・啓蒙と疫学調査、基礎的・臨床的研究を通じて脊椎脊髄病の病態解明、新たな診断法、治療法やその関連手術機器の開発、さらには良質な医療を提供するエビデンスを集積するための関連病院を含めた多施設共同前向きランダム化比較試験の実施などを目的とする。                                         |
| 名古屋市立大学 | 関節リウマチ制御・<br>機能再建外科学講座 | 2013.4.1～2017.3.31<br>(4年間)                                 | 女性に多い疾患の関節リウマチならびに関連骨粗鬆症の制御<br>1. グリオスタチンの関節リウマチにおける役割<br>(診断・治療への応用)<br>2. 生物学的製剤とリウマチ手術による四肢関節機能維持<br>3. リウマチ関連骨粗鬆症に対する薬物治療と破骨細胞の制御                                        |
| 京都大学    | 免疫ゲノム医学講座              | 2005.4.1～2010.3.31<br>(5年間)<br>2010.4.1～2015.3.31<br>(継続)   | 免疫系における遺伝子変異機構とその制御についての基礎研究ならびに免疫系制御因子を用いた各種疾病の新しい治療法の研究を行う。                                                                                                                |

## 公益財団法人小野医学研究財団

小野医学研究財団は1988年、当社からの寄付を基金として設立されました。本財団は、脂質代謝異常の分野に関する研究助成を行うほか、各種事業を通じて、この分野の治療や研究の振興を図り、もって国民の健康と福祉に貢献することを目的としています。

近年の研究の進展により、脂質代謝異常は単に生活習慣病のみならず、神経難病やがんの発症など、極めて広い医学の分野に影響を与えることがわかってきており、国民の健康において脂質研究の重要度はますます増加しています。

財団設立以来、選考委員の先生方による厳正な審査に基づく研究助成および研究奨励助成を毎年行ってきました。24年間での応募総数は2,200件を超え、その中から400件以上の助成を行いました。助成対象者は、財団が開催する研究成果発表会で自ら発表を行っています。

詳細の研究概要は <http://pac.jfc.or.jp/ono/search.php?zid=f-00163> をご覧ください。

### ●第24回研究成果発表会



2013年6月1日 千里ライフサイエンスセンター



小野医学研究財団研究助成、研究奨励助成者